

令和4年9月12日

原子力施設立地・隣接道府県
原子力災害医療（被ばく医療）機関の長 殿

広島大学放射線災害医療総合支援センター長
神谷 研二
(公印省略)

令和4年度 「原子力災害医療中核人材研修（広島大学 第2回）」について

日頃より高度被ばく医療支援センター業務にご協力いただきありがとうございます。

原子力規制委員会から基幹高度被ばく医療支援センターの指定を受けている量子科学技術研究開発機構、高度被ばく医療支援センターの指定を受けている弘前大学、福島県立医科大学、長崎大学、広島大学の5機関は、平成29年度から分担して「原子力災害医療中核人材研修」を開催しています。

本研修は、原子力災害拠点病院の指定要件の一つとして求められる「原子力災害に対する中核人材」の育成を目的とし、原子力災害拠点病院の施設要件として受講が要求される研修の一つとして位置付けられています。

受講対象は、医師・看護師・診療放射線技師等であり、原発立地・隣接24道府県の原子力災害拠点（候補）病院を中心に受講生を募集するもので、広島大学では、年3回の開催を計画しており、今回は第2回(令和4年11月28日(月)～11月30日(水))のご案内です。

貴機関より、本研修受講対象者をご推薦の上、被ばく医療研修ポータルサイトからお申込みいただきますようお願いいたします。

なお、本学以外で開催されます研修につきましては、それぞれの開催機関から案内・募集要項が別途発出されますので、ご承知おきください。

研修の実施においては新型コロナウイルス感染症対策専門家会議で提言された「新しい生活様式」を踏まえ、感染拡大防止対策及び衛生環境整備に努めてまいります。また、感染症拡大の状況により研修の中止または中断があることもご理解のほどお願いいたします。

広島大学 放射線災害医療総合支援センター 事務局
TEL : 082-257-5411 FAX : 082-257-5403
e-mail : iryo-hibaku-jimu@office.hiroshima-u.ac.jp
iryo-hibaku@office.hiroshima-u.ac.jp